



いい仲間、いい仕事、三栄会

# San-ei news

編集兼発行人：三栄会広報委員会 事務局：東京都千代田区大手町1-2-1 三井物産(株)事業管理部企画室内  
TEL. (03)3285-7816 三栄会ホームページ URL: http://www.san-eikai.or.jp  
Eメールアドレス: SaneikaiTKAOL@mitsui.com 制作：株式会社三幸企画



開始前の風景

## 『出会い』をテーマに、一体感をもって、新企画で大盛況

# 第14回 サンエイ・サマー・フェスタ開催

秋めく八月二十五日の晩夏の夕べ、「第14回サンエイ・サマー・フェスタ」が三井物産本館地下1階・中ホールにおいて、盛大に催されました。昨年は諸般の事情により開催が見送られましたが、今年は装いも新たに、新企画が目白押しでした。三栄会各社の社名ロゴをバックに配したパネルも大好評で、三井物産を含む三七社から総勢二二名の多くの参加者が集い、夏の名残を惜しむかのよう

に大いに盛り上がりました。オープニングは、三栄会の概要と活動を紹介するビデオの放映で、初の試みとして、この会の開催に合わせて準備されたものです。モニターは多くの人が見られるよう、会場のいたる所に設置されていたので、モニターを通して三栄会の活動がより具体的に理解できたのではないのでしょうか。

冒頭、東京三栄会増田会長が、「三栄会の会員は現在一六二社。これだけ多くの業種の異なる会社が集まり、情報交換や多岐にわたる活動をしている。この会も大きな活動の一つ。昨年は事情により中止したが、今日はよい機会なので、大いに飲んで語り合い、懇親を深めていただきたい。二二社からの賞品提供や、アサヒビール社のご協力など、開催するに当たっては、多くの方々にご協力をいただいた。心よりお礼を申し上げます」と、若手の交流を促す言葉と感謝を込めて、開会の挨拶をされました。

続いて、海老名副会長から「このたび新設の文化交流委員会を任された。絵画、写真、料理、陶芸の文化教室を設け、早いものはこの九月から開始する。一流講師でしかも格安なので、奮って参加いただきたい。その他、社会貢献活動として、『盲導犬キャンペーン』や『カンボジアの小学生への文房具・ボール・楽器寄贈キャンペーン』など、家族ぐるみのボランティアも計画しており、積極的に参加・協力をお願いしたい」と、文化交流委員会の活動をPRされた後、乾杯の音頭で幕が閉まりました。

それまで緊張気味だった会場の雰囲気も和らぎ、飲み物を片手に豊富な料理を満喫、後の「人名ビンゴゲーム」につながる名刺交換を行いながら歓談に入りました。最初のイベントは、恒例の各社の企業紹介です。今年は一三社の若手を中心になって、それぞれの会社をPRしました。予定時間をはるかに上回るほどの熱の入りで、その後の段取りを気遣い事務局が慌てる一幕も。次は、お楽しみゲーム大会の「人名ビンゴ」。受付時に配られたマスカードの九箇所がすべて埋まるように最低八人と名刺交換し、会社名と名前を書き込んでおきます。司会者の抽選に、豪華賞品を手に入れようと、カード片手に一喜一憂する姿がこかしこで見られるなど、場内は熱気が溢れんばかり。

続いて、これも初の試みの「三栄会クイズ」。三栄会をもっと知ってもらうために、事務局が腐心して問題を作りました。オープニング

は、三栄会の概要と活動を紹介するビデオの放映で、初の試みとして、この会の開催に合わせて準備されたものです。モニターは多くの人が見られるよう、会場のいたる所に設置されていたので、モニターを通して三栄会の活動がより具体的に理解できたのではないのでしょうか。

冒頭、東京三栄会増田会長が、「三栄会の会員は現在一六二社。これだけ多くの業種の異なる会社が集まり、情報交換や多岐にわたる活動をしている。この会も大きな活動の一つ。昨年は事情により中止したが、今日はよい機会なので、大いに飲んで語り合い、懇親を深めていただきたい。二二社からの賞品提供や、アサヒビール社のご協力など、開催するに当たっては、多くの方々にご協力をいただいた。心よりお礼を申し上げます」と、若手の交流を促す言葉と感謝を込めて、開会の挨拶をされました。

続いて、海老名副会長から「このたび新設の文化交流委員会を任された。絵画、写真、料理、陶芸の文化教室を設け、早いものはこの九月から開始する。一流講師でしかも格安なので、奮って参加いただきたい。その他、社会貢献活動として、『盲導犬キャンペーン』や『カンボジアの小学生への文房具・ボール・楽器寄贈キャンペーン』など、家族ぐるみのボランティアも計画しており、積極的に参加・協力をお願いしたい」と、文化交流委員会の活動をPRされた後、乾杯の音頭で幕が閉まりました。

それまで緊張気味だった会場の雰囲気も和らぎ、飲み物を片手に豊富な料理を満喫、後の「人名ビンゴゲーム」につながる名刺交換を行いながら歓談に入りました。最初のイベントは、恒例の各社の企業紹介です。今年は一三社の若手を中心になって、それぞれの会社をPRしました。予定時間をはるかに上回るほどの熱の入りで、その後の段取りを気遣い事務局が慌てる一幕も。次は、お楽しみゲーム大会の「人名ビンゴ」。受付時に配られたマスカードの九箇所がすべて埋まるように最低八人と名刺交換し、会社名と名前を書き込んでおきます。司会者の抽選に、豪華賞品を手に入れようと、カード片手に一喜一憂する姿がこかしこで見られるなど、場内は熱気が溢れんばかり。

続いて、これも初の試みの「三栄会クイズ」。三栄会をもっと知ってもらうために、事務局が腐心して問題を作りました。オープニング

### San-ei Summer Festa Program

(詳細は2~4ページで)

- オープニング映像スクリーン(三栄会活動紹介)
- 会長挨拶
  - 東京三栄会 会長 増田潤逸 (三井情報開発(株)社長)
- 乾杯
  - 東京三栄会 副会長 海老名潤 (三井物産ゼネラルサービス(株)顧問)
- 御歓談・御飲食
  - 名刺交換会
  - 各企業PR大会
- ゲーム大会(3種、賞品付)
  - 人名ビンゴ
  - 三栄会クイズ
  - 後出しジャンケン
- 魅惑のサプライズゲスト出演
- 中締め挨拶
  - 東京三栄会 共通世話人 横手海一郎 ((株)三井物産ヒューマンリソース執行役員)



総勢222名を迎える受付の女子社員



# 会長挨拶

増田会長（写真）が若手の交流を促す言葉と協力会社に対する感謝を込めて、開会の挨拶をされました。



# オープニング映像スクリーン

初の試みとして、三栄会の概要と活動を紹介する映像が3分30秒、流されました。



海老名副会長の乾杯の音頭で乾杯している様子

# 乾杯

海老名副会長（写真）による文化交流委員会活動のPRの後、乾杯の音頭で開始されました。





乾杯後にグラスを片手に歓談

# 御歓談・御飲食



## ● 名刺交換会

飲み物や料理を満喫しつつ、その後に行われる「人名ビンゴゲーム」につながる名刺交換を行いました。



## ● 各企業PR大会





後出しジャンケンの様子

# ゲーム大会

ゲームは「人名ビンゴ」、「三栄会クイズ」、「後出しジャンケン」の3種を用意。あちらこちらで歓声が上がると、大きな盛り上がりを見せました。

## 【三栄会クイズ Q&A】

このクイズは、皆さんに三栄会のことをもっと知っていただくためのものです。

### ■三栄会の組織に関する問題

- ① 三栄会が設立された時期は？  
 昭和54年11月  昭和45年1月
- ② 三栄会の現在の正会員会社数と人数は？  
 126社/3万4千人  162社/3万4千人
- ③ 三栄会の会員各社が一同に会し事業計画や収支決算・予算を報告する会、すなわち総会が年に1度開催されます。その時期は？  
 毎年12月開催  毎年6月開催
- ④ この総会で選出された幹事が幹事会として会務の執行に当たるわけですが、その執行について審議する場に幹部会があります。会長、副会長、共通世話人、特別会員をもって構成されるこの幹部会は年間何回開催されるでしょうか？  
 年間12回開催  年間11回開催

### ■今度は各委員会の活動に関する問題

- ⑤ 現在、組織されている委員会は4つあります。その中で出来立てホヤホヤの委員会が文化交流委員会です。現在予定している文化活動は次のどちらでしょうか？  
 料理・書道・手芸・カラオケ・社会貢献活動  
 料理・陶芸・写真・絵画・社会貢献活動
- ※上記、紹介した文化交流委員会の各活動への申し込み方法は、三栄会のホームページに掲載されています。ふるってご応募ください。

### ■広報委員会からの問題

- ⑥ この活動の一部に三栄会の機関紙であるサンエイニュースの発行があります。では、そのサンエイニュースは年間何回発行されているでしょうか？  
 年3回発行  年4回発行

### ■スポーツ交流委員会からの問題

- ⑦ 予選会から決勝大会まで開催運営しているスポーツとは、いったいどんな種目でしょうか？  
 野球・テニス・卓球・ボウリング  
 野球・テニス・サッカー・ボクシング
- ※野球大会・テニス大会は春から夏にかけて、卓球大会、ボウリング大会は秋に開催されます。

### ■研修委員会からの問題

- ⑧ この委員会は実務を中心とした研修会を実施・運営しています。三井物産の湯河原研修所で行われる1泊2日の研修を中心に、年間、何講座実施しているのでしょうか？  
 年間12講座  年間13講座
- ※年間500名以上が研修を受けています。

### ■三栄会のモットーは？

- ⑨  いい仲間、いい仕事、三栄会  いい環境、いい社会、三栄会
- ※今年度より「一体感の場」、「社会責任の場」も目指し、より一層の強化、反映を目指しています。
- ⑩ 最初にご挨拶された東京三栄会の会長である増田潤逸（ますだじゅんいち）会長はどちらの会社の社長でしょうか？  
 三井情報開発株式会社  三井石油開発株式会社

答 ① A、② B、③ A、④ B、⑤ B、⑥ A、⑦ A、⑧ B、⑨ A、⑩ A



三栄会クイズ（左、右）



賞品授与



後出しジャンケン



サプライズゲストのゴスペルの皆さん



拍手をしている出席者の方々

ゴスペルグループの「エノーマス・ボイス・インユー」の迫力あるアカペラに、場内は最高潮の盛り上がりを見せました。

# 魅惑の サプライズゲスト出演



事務局と企画スタッフの皆さん



サマフェスガールズ（Tシャツにプリントされているのは各社のロゴマーク）



サマーフェスタに出席した若手女子社員



# 中締め挨拶

横手共通世話人（写真）の中締めの挨拶で、約3時間にわたるサマー・フェスタは盛況のうちに終了しました。

# 東京三栄会・第二回経営懇談会開催 三井物産グループとして、いい仕事をするために

東京三栄会の第二回経営懇談会が六月二日、三井物産(株)本店12階の会議室において行われました。この懇談会は、互いがいい仕事をするために、東京三栄会の新たな試みとして、三井物産幹部と会員各社の幹部が定期的に懇談するものです。

東京三栄会からは増田会長以下幹部六名、会員会社三名、三井物産からは今井専務執行役員(CFO)を筆頭に小川事業管理部長など十一名、総勢四〇名が出席しました。

懇談会に先立ち、三栄会を代表して増田会長が「三栄会は会員相互の交流の場として活動しているが、さらに、会員幹部が産業・業種を超えて三井物産幹部との交流を図るのがこの懇談会の目的である。この会議は、何かを決定するというのではなく、関係者が自由闊達に意見を交換する中で、考え方を共有・共通化できれば大変ありがたい」と語り、改めてその開催趣旨について確認しました。

今回は、三井物産・今井専務執行役員の講話で、テーマは「決算を踏まえて」と題して、関係会社に焦点を当てた内容でした。五月一〇日に開催された決算説明会の資料を基に、二〇〇六年三月中期経営計画の総括として、決算全体像の概要ならびに中期展望について説明がありました。二〇〇六年三中期の連結



「決算を踏まえて」と題して講話される今井専務執行役員

純利益は、二、〇二四億

円と過去最高益。世界経済の拡大を背景に、ほぼ

全セグメントで収益基盤を拡大した。関係会社の

業績が大きく貢献しているが、その半面、リスク

の大半も関係会社にあるといえる。中期経営を展

望するに当たり、関係会社の重要性がますます高

まることから、これを総括する部門として事業管

理部を新設した。これまで関係会社の対応部署が

分散していたため、ここに対応窓口があるのか不

鮮明であったのを、コーポレートの再編として一

本化したもの。中期経営の展望として、価値創造

ポートフォリオ経営を指し、顧客・社会のニーズに対応した価値創造を

軸に戦略的ポートフォリオを構築する」と三年から五年後の「在り姿」を

述べられました。その後、質疑応答を中心に意見交換し、成功裡に終了しました。

経営懇談会終了後、場所を移して懇親会が開催され、さらに活発な意見交換がなされました。今後、三井物産の経営幹部に交代で出席いただき、継続して開催する予定です。

(広報委員長／三井物産ハウステクノ 安藤)

経営懇談会の出席者



経営懇談会の出席者

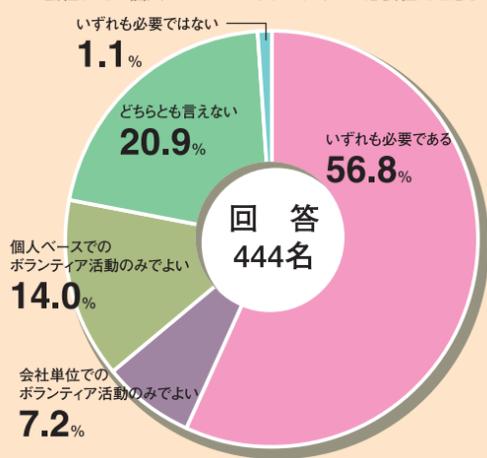
# 社会貢献活動のアンケート結果

今回、東京三栄会ボランティア活動について、アンケート専用ホームページを通じて各会員会社社員からアンケートの回答をいただきました。アンケート内容は、ボランティア活動の必要性、ボランティア活動参加経験の有無など約一〇項目あり、紙面ではすべてを紹介しきれないため、一部を紹介いたします。

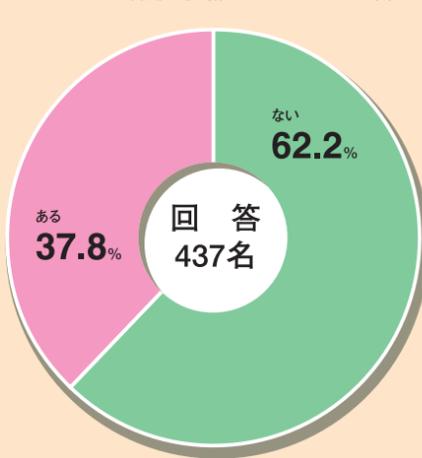
回答していただいた四四四名のうち五六・八%が基本的にはボランティア活動は必要だと回答(グラフ1)。実際にボランティア参加経験があると答えたのは三七・八%にとどまり、未経験者が多いことが浮き彫りになりました(グラフ2)。また、参加経験者のうち六九・九%の人たちが、会社とは無関係の団体主催の活動に参加経験を持ち(グラフ3)、具体的には清掃活動や環境美化がトップで、次いで各種福祉活動、町おこし・地域行事への支援などがありました(表1)。ただ、ボランティア活動経験者の中には、「時間的余裕があれば参加する」という意見が多数を占め、強い継続意思までは感じられない結果となりました(グラフ4)。

今後のボランティア活動への取り組み姿勢としては、「活動の内容による」という意見が半数と一番多く、「参加したい」という意思はあるものの、すぐには困難」という意見が次いで多く見られました(グラフ5)。また、ボランティア活動への参加形態は、「仲間との共同参加」が多かったものの、「単独でも参加する」と答えた人たちの差は大きくありませんでした。

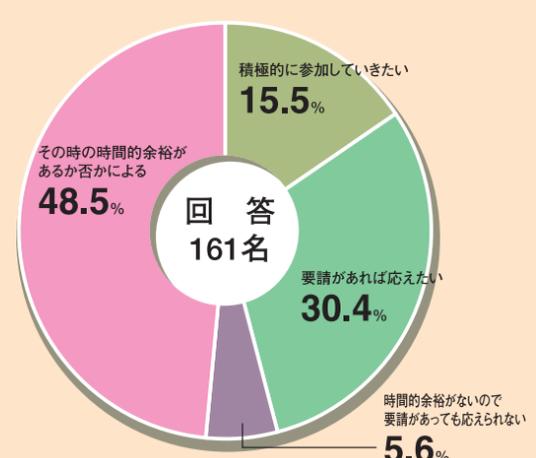
グラフ1 会社または個人ベースでのボランティアは必要性だと思うか



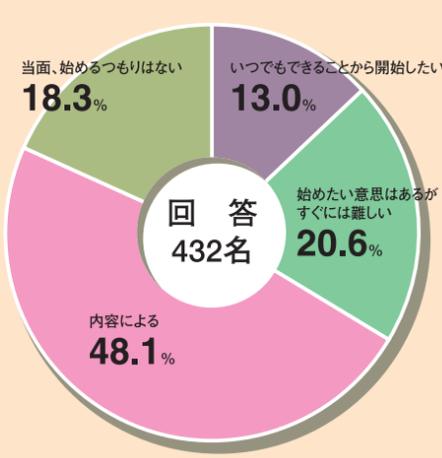
グラフ2 ボランティア活動に参加したことがあるか否か



グラフ4 ボランティア活動を継続するか否か



グラフ5 新しくボランティア活動を始めたいか



グラフ3 参加したことのあるボランティア活動の主催者はどこ

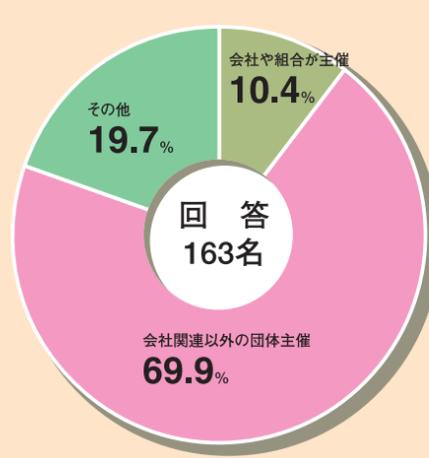


表1 ボランティア活動内容

| 分野               | 出現率(複数回答) |
|------------------|-----------|
| 1 清掃活動や環境整備・美化   | 52.1%     |
| 2 各種福祉団体の活動への参加  | 30.7%     |
| 3 町おこし・地域行事などの支援 | 23.3%     |
| 4 国際交流           | 12.9%     |
| 5 教育・スポーツ振興への支援  | 20.2%     |
| 6 被災者救援活動        | 3.7%      |
| 7 その他            | 9.8%      |

# 第19回 東京三栄会野球大会



優勝した日本ユニシスチーム

先攻の日本ユニシスは初回、敵失と三井情報開発先発の太平の制球難を足がかりに、下位打線のタイムリーなどで6点を先取。2回にも3番・木村の適時2塁打で追加点。4回にはその木村が2点ランニング本塁打。さらには5回にも1番・石田が左越ランニング本塁打で、5回までに11点をとり、コールドを決定づけました。

延長サドンデスで先行のEMオートリストが6点先取。誰もがEMオートリストの決勝進出を確信しましたが、三井情報開発が何と7点取っての奇跡の大逆転で決勝進出を果たしました。残暑厳しい中で準決勝を午前中に行い、わずかに三分の休憩を挟んでの決勝戦。この過酷なスケジュールが勝敗を分けました。余裕で勝ち進んだ日本ユニシスに対して、延長戦の死闘を征して勝ち進んだ三井情報開発には厳しい結果となりました。

八月二十七日(日)、第一九回三栄会野球大会の決勝が無事行われました。今大会は、朝日新聞江戸川総合グラウンド(埼玉県三郷市)で開催。四月の前夜祭(組み合わせ抽選会)後、六月四日に開幕しましたが、雨天のため中止に次ぐ中止で日程がずれ込み、ようやく決勝戦となり、途中4チームの棄権もありました。

大会三連覇のにかかる日本ユニシスが、前評判のどおり順当に決勝まで勝ち進みました。準決勝でも昨年の準優勝チームである三井情報開発(株)を8-0と完封シャットアウトし、まさに横綱相撲。

三井情報開発(株)は準決勝でEMオートリスト(株)と1-1の同



試合風景



優勝旗を手渡す藤松スポーツ交流委員長

投げては先発・石田が5回途中までパーフェクトに抑えましたが、三井情報開発の鈴木謙が5回に中前打を放ち、何とか石田の完封を阻止しました(敬称略)。

(広報委員)エムサービス林

日時:八月二十七日 一二時三〇分開始

場所:朝日新聞江戸川総合グラウンド(埼玉県三郷市)

対戦:日本ユニシス vs. 三井情報開発

■決勝スコアボード

|      |   |   |   |   |   |    |
|------|---|---|---|---|---|----|
| ユニシス | 6 | 1 | 0 | 2 | 2 | 11 |
| MKI  | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0  |

(大会規定により5回コールド)

■表彰選手

- 最優秀選手賞:木村幸浩(日本ユニシス)
- 今大会満塁打を含む2本塁打。決勝でも本塁打含む4打数4安打
- 投手賞:石田大助(日本ユニシス)
- 決勝でほぼパーフェクトに近い完封
- 打撃賞:横田信幸(三井情報開発)

準決勝のEMオートリスト戦で決勝進出を決める決勝打

守備賞:田保礼丈(日本ユニシス)

好リードでチームを優勝へと導く

## 東京三栄会会員各社 新社長紹介

今年新しく社長になられた方々をご紹介します。(掲載は社名順、敬称略)

|  |  |
|--|--|
|  <p><b>物産コミュニティー(株) 谷津 唯司</b><br/>生活とビジネスのフォローアップ企業としてお客様のニーズに合う住まいのトータルサービスを目指します。</p> |  <p><b>国際油化(株) 山下 奉信</b><br/>エネルギー総合商社として半世紀にわたる実績を活かし、お客様との信頼を基盤に、誠実な開かれた会社とします。</p>                     |
|  <p><b>物産リヤドロ(株) ジェローム・シュシャン</b><br/>会社設立20周年。住空間に新しい風/NEWリヤドロの新たな魅力を皆様にご提案いたします。</p>   |  <p><b>商船三井ロジスティクス(株) 加藤 敏文</b><br/>お客様のいかなるニーズにもお応えできる、迅速なサービスをご提供できるシステムを構築し、進化し続ける物流サービスを心がけて参ります。</p> |
|  <p><b>三井物産鉄鋼建材(株) 若山 洋太郎</b><br/>需要家に一番近い鉄鋼建材全般の専門家集団を目指していきます。</p>                    |  <p><b>(株)新津田 須藤 裕雄</b><br/>05年4月より三井物産100%の関係会社となりました。お客様から選ばれる鉄鋼専門商社を目指します。</p>                         |
|  <p><b>三井物産林業(株) 渡辺 明長</b><br/>「自然と人間の調和をめざして、環境に配慮したより良い企業活動を行う。」を基本理念に事業を推進。</p>      |  <p><b>東洋船舶(株) 西澤 俊克</b><br/>海上輸送の最適化に貢献し、世界中のお客様と共に成長するパートナーを目指します。</p>                                  |

## Business Corner

### 老舗和菓子屋職人が作る 心と体に優しい和菓子 健康美彩和みシリーズ

「四季の和菓子」

(株)メフォスは二〇〇二年よりホテルオークラとの共同開発により、健康へのきめ細かい配慮と美味しさを両立させたエネルギーコントロール食宅配サービスを開始

し、五年目を迎えました。また、昨年十一月より、心と体に優しい和菓子として「健康美彩和みシリーズ四季の和菓子」の販売を開始しております。

創業一四〇年の老舗和菓子屋の職人が、一つひとつ丹精込めて作り上げた六種類(全一八個)の詰め合わせです。どれも一口サイズで、食べやすさと美味しさを両立。一個あたり八〇キロカロリー前後で、毎日少しずつお楽しみいただけます。素材の持ち味を大切に、風味豊かで上品な味わいとなっております。

「一口どら焼き」「よもぎ蓬道明寺」などの詰め合わせ一箱三、一五〇円(税込み/送料・クール料金別)。健康美彩商品の合計ご注文金額四、七二五円(税込み)以上で送料無料で。全国配達可能(一部離島を除く)。詳しくはホームページ(www.kankobisai.com)をご覧ください。

【お問い合わせ】  
(株)メフォス  
健康美彩お客様相談窓口  
電話:〇三二三三九二七〇四



## お知らせ

(サンエイニュース66号以降)

■幹事異動

- 化学品部会正世話人
  - <前任>藤木哲丸 三井物産ソルベント・コーティング(株)社長
  - <後任>中山 泉 三井物産プラスチック(株)社長
- 金属・エネルギー部会・副世話人
  - <前任>畑谷直樹 (株)三井物産コイルセンター社長
  - <後任>須藤裕雄 (株)新津田社長
- 金属・エネルギー部会・副世話人
  - <前任>大橋洋介 三井石油(株)社長
  - <後任>香川幸之 三井石油開発(株)社長
- 生活産業部会・副世話人
  - <前任>鎌田慶昭 三井物産インターファッション(株)社長
  - <後任>井下田孝人 三井物産インターファッション(株)副社長
- 監査役特別部会世話人
  - <前任>坂口 庸 日本ブランドウィック(株)監査役
  - <後任>藤村 裕 物産不動産(株)監査役
- 監査役特別部会副世話人
  - <前任>藤村 裕 物産不動産(株)監査役
  - <後任>松岡 靖 大東化学(株)監査役